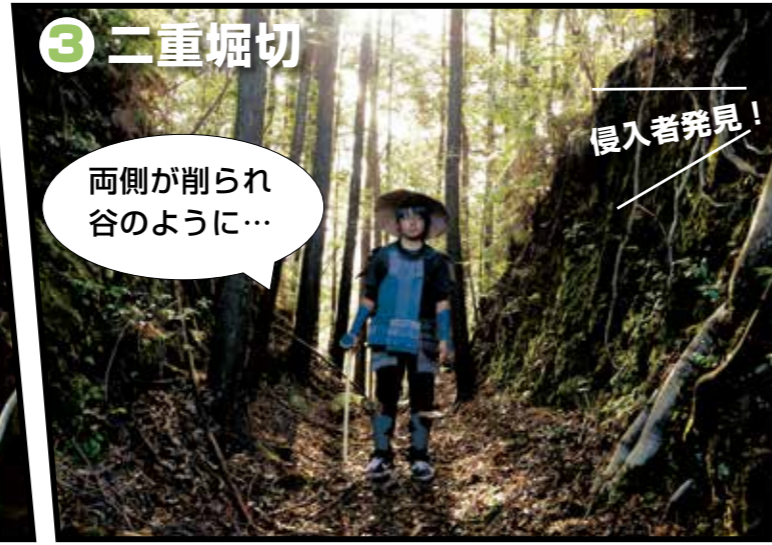


京城跡を攻めてみた!!

京城跡は、平山城と呼ばれる種類の城に分類されます。立派な天守閣はありませんでしたが、敵の攻撃に備え、さまざまな仕掛けが備わった造りとなっています。城の守り手と攻め手に扮装し、京城跡の構造の一部を体験してみました。



1 西曲輪群



3 二重堀切



上から攻撃されて手も足もでない...



2 畝状堅堀



4 枡形虎口



まいりました~

こっちもダメか...

山城に詳しくなる

用語解説

城

敵を防ぐために土や石で堅固に築いた建物・設備。室町時代末期までは石垣を用いない土の城が一般的でした。

曲輪

堀や土塁で囲んで作った城内の区画。城主の館だけではなく、家臣の住まいも曲輪の中に建てられます。一番中心になる大事な曲輪を主郭と呼びます。

虎口

城の出入り口にあり、敵の侵入を防ぐために、通路を折り曲げるなど、工夫しています。

枡形虎口

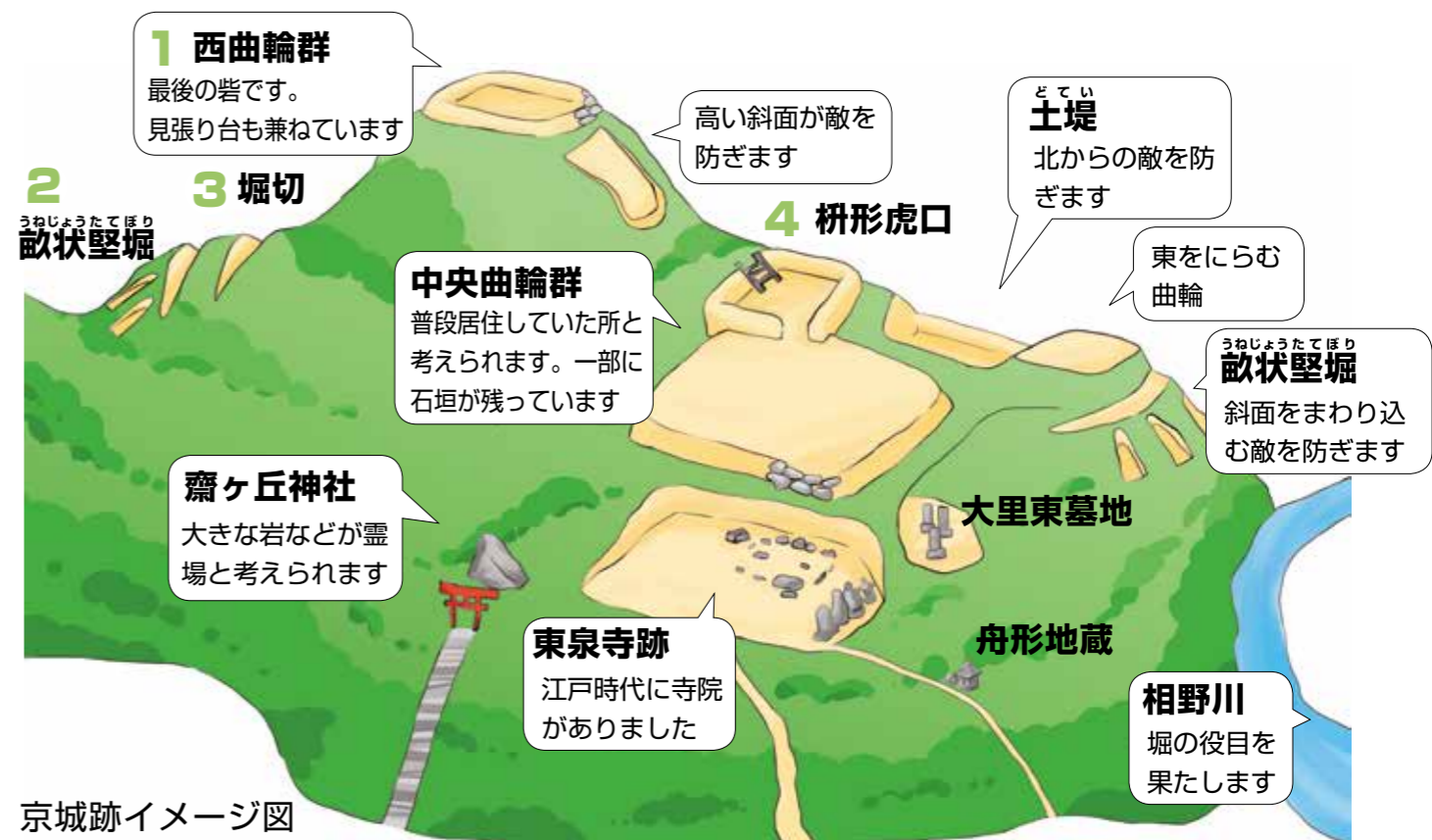
壁や石垣などで四角に囲んだり、通路が折れ曲がっているように作った虎口。入ってきた敵を周囲の壁や石垣などから攻撃できる守りの堅い形です。

堀切

敵の進入を防いだり、高いところから攻撃するためにつられた堀。

堅堀

山腹をつたって横から回り込むのを防ぐために山腹を下っていくように縦に掘られた堀。堅堀を並べたものは畝状堅堀と呼ばれます。



京城跡イメージ図